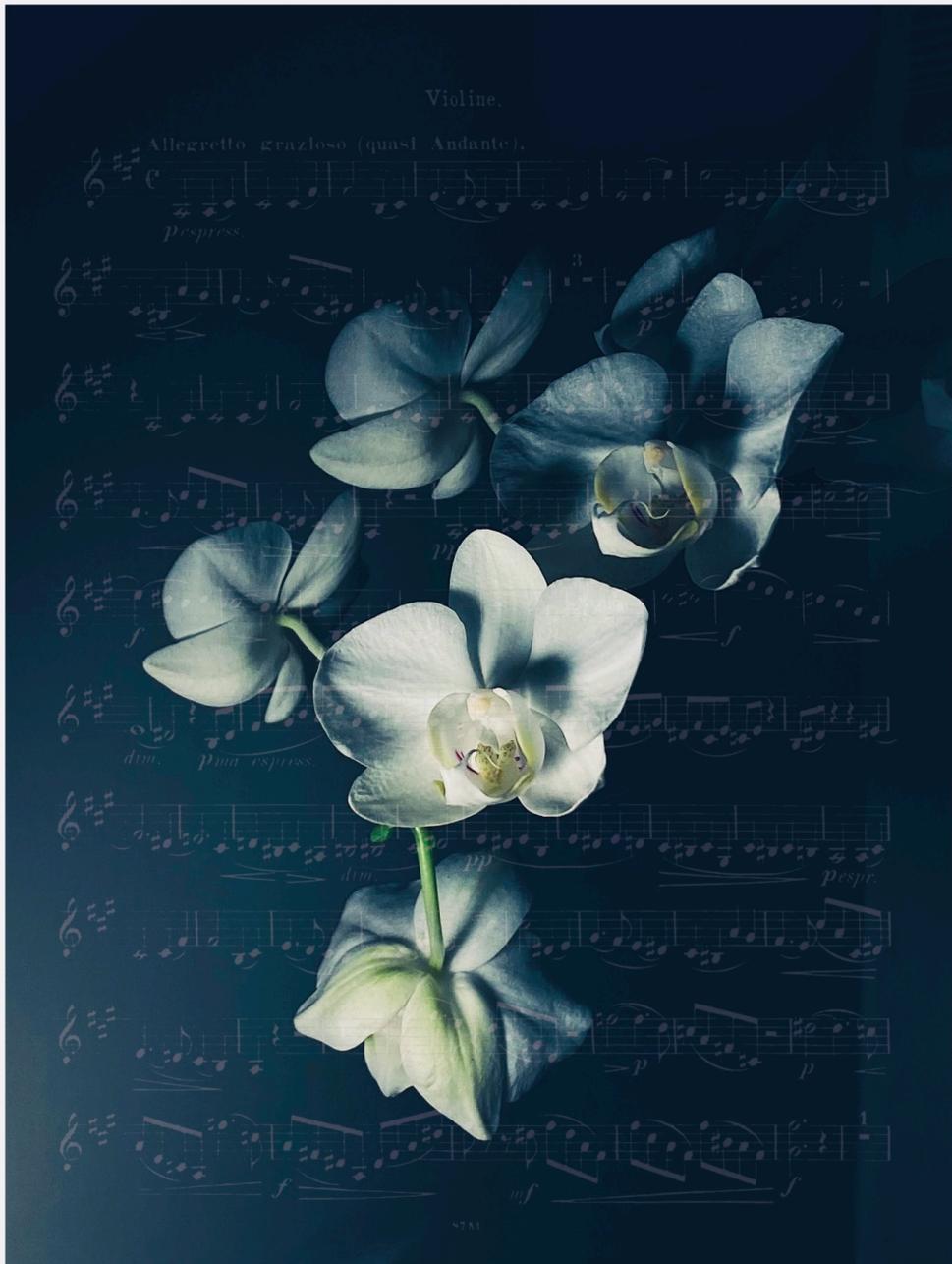




企画室・音と光  
son et lumière planning office

# classical concert vol.1

2021.12.5 sun



## 音と光 classical concert vol. 1

ピアニストの五味田恵理子さんとヴァイオリニストの吉原葉子さんによるデュオ・コンサートです。音の清澄さにおいて深く信頼を寄せているお二人をお迎えしてお届けする今回は、一年半に渡る先のみえない日々と、オンライン上でのやり取りが続く中で緊張した心身を、空間に響きわたる澄んだ音に浸し、やわらげていただけるようなプログラムを予定しております。演奏会のオープニングには、地域子どもたちによるピアノとヴァイオリンの演奏と朗らかな笑顔もお楽しみいただきます。寒い冬のはじまりの頃、こころあたたまるコンサートにぜひお運びください。

### | プログラム |

シューベルト：即興曲 op.90-3 / シューマンーリスト：献呈

ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第2番イ短調 Op.100

クライスラー：プレリュードとアレグロ

ペルト：鏡の中の鏡 / 他

### opening

piano

樋渡 侑 & 樋渡 皆

宮崎 渚

荒井 愛奏里

violin

湯原 礼央 & 大森 凜人

林 桃ノ介



吉原葉子 Yoko Yoshihara / Violin

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学音楽学部卒業、同大学院修士課程修了。在学中に大学の推薦により奨学金を得てウィーン国際音楽セミナーに参加しディプロマを受ける。学内モーニングコンサートで芸大オーケストラと共演。第5回日本室内楽コンクール入賞。第42回マリア・カナルス国際音楽コンクール第2位受賞。2001年より、定期的に東京にてリサイタルを開催しいずれも好評を博す。ソリストとしてKBS交響楽団、東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団等と共演。室内楽・オーケストラ奏者としても活躍し、各地の音楽祭に出演する。『アンサンブル of トウキョウ』のメンバー。



五味田恵理子 Eriko Gomita / Piano

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学を経て、同大学院修士課程、ドイツ国立ミュンヘン音楽大学マイスターソリスト過程を修了。ドイツ国家演奏家資格取得。現在東京藝術大学附属音楽高等学校非常勤講師。東京交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団他オーケストラと共演。ドイツ音楽アカデミーやスタインウェイハウス主催コンサート等、国内外数々の演奏会に抜擢され出演する。また最近では東京フィルハーモニー交響楽団首席チェリスト金木博幸氏やNHK交響楽団メンバーとの共演をはじめ、数々の室内楽演奏会にも出演。ショパン国際ピアノコンクール in ASIA、日本クラシック音楽コンクール他審査員を務める。ショパン国際ピアノコンクール in ASIAにて指導者賞受賞。

2021. 12. 5 sun 13:30 open / 14:00 start

入場料：一般 3,500 円 / 学生 1,000 円 / 小学生以下無料

会場：いずるば

東京都大田区田園調布本町 38-8

(東急多摩川線沼部駅下車 徒歩 5 分)

主催：企画室・音と光 [www.sono-lumiere.net](http://www.sono-lumiere.net)

ご予約・お問合せ：[espace@sono-lumiere.net](mailto:espace@sono-lumiere.net)



都内のこの1年半の日々は、自粛..自粛..

親しい人と会って和やかな時間を過ごすことすら制限された日々を過ごした今、最も作りだしたかったことが、信頼、希望、ささやかなやさしさ...そのような、人と人が関わりあうなかで、最もかけがえのないもので充たされたあたたかい空間を創ることでした。

人は、どんなに暗闇にいるかのような境遇に置かれたとしても、いつか必ずささやかなやさしさや光に照らされて、私たちのなかにある力が湧いてくる瞬間が訪れるー

そんなことを感じられる空間が、実力派のヴァイオリニスト吉原葉子さんとピアニストの五味田恵理子さんのお力添えにより、この日に実現します。

・  
・  
・

吉原葉子(vn) & 五味田恵理子(pf)

デュオ・コンサート

| プログラム |

即興曲 op.90-3                      シューベルト

献帝                                      シューマン - リスト

ヴァイオリン・ソナタ  
第2番イ短調 Op.100                  ブラームス

プレリュードとアレグロ              クライスラー

鏡の中の鏡                              ペルト

他

...

今回のプログラムを決める時に

「真実なる女性 クララ・シューマン」

原田光子さんという、1909年生まれの自由学園の初期の方がお書きになった本にめぐりあいました。その心もことばも、クララの生き方から受け取り、響き合う姿勢がほんとうに美しく、稀有な名著だと思いました。

「まことにクララ・シューマンこそは芸術と家庭生活を両立さすべく、才ゆたかな女性に課せられた困難なしかし光栄ある道を、ひたむきに実践した最初の女性でございました。

彼女の愛情と真実は、あらゆる苦難試練に耐えて、最愛の夫を精神病院に送り、やがてその死とともにのこされた七人の幼児を女手一つでそだてあげ、そのうち四人の子女につぎつぎと先立たれて、七十歳の老齢になってなお一家の生計を双肩になわなくてはならなかったはげしい一生を送りながらも、つねに感謝と希望を失うことなく、人生に対してたえず愛情と信頼をもってたゆまぬ精進を続けていたことにあるとぞんじます。

・

クララの献身的な心づかいと信頼がなかったならば、不思議な香気と美しさにみちたシューマンの音楽はむろんのこと、真摯で内省的なブラームスの作品も、現在あるような形ではのこされなかったのではないかと思うようになりました。」（「真実なる女性-クララ・シューマン」原田光子/ダヴィッド社より）

・

コロナ禍で、人と人の間の分断ばかりがクローズアップされるような時代に、

こうして、時を超えて交わされる音の響きから直接受け取るもの—

献身、信頼、愛情…

先人たちが切り拓いた「普遍」という響きの世界

シューマン、クララ、ブラームスの中で交わされた気高くも思いやりに満ちた音の世界に触れていただけたらとても嬉しく思います。

後半は趣向を変えて、宇宙的な空間の広がりには私たちがいざなう、クライスラーの「プレリュードとアレグロ」で新しい時代のはじまりに想いを馳せ、

現代作曲家の中でも孤高の響きをもつアルヴォ・ペルトの「鏡の中の鏡」で、無音よりも静謐で、清澄な世界に身を委ねていくような流れでプログラムしました。

このような時期に、子どもたちにもこうした時間に触れていただきたく、小学生以下は無料としました。親子でもお気軽にお越しください。

・

・

・

2021.12.5(日)

13:30 開場 / 14:00 開演

入場料：一般 3,500円 / 学生1,000円

小学生以下無料

会場：いずるば

東京都大田区田園調布本町 38-8

(東急多摩川線沼部駅下車徒歩5分)

主催：企画室・音と光

<https://www.sono-lumiere.net>

ご予約・お問い合わせ

espace@sono-lumiere.net

...

= 子どもたちによるオープニング曲目 = (開始より30分)

◎樋渡 皆 (pf / 小1)

たんじょう日マーチ

ケーラー

◎樋渡 侑 (pf / 小4)

乙女の祈り

バグジェフスカ

◎宮崎 渚 (pf / 小6)

愛の夢 第3番

リスト

◎大森 凜人 & 湯原 礼央 (vn / 小4)

2つのヴァイオリンのための協奏曲

ニ短調 第一楽章

バッハ

◎荒井 愛奏里 (pf / 中2)

華麗なる変奏曲 変ロ長調 Op.12

ショパン

◎林 桃ノ介 (vn / 中2)

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ ハ短調 第3番ラルゴ～アレグロ

バッハ

\* 曲目は全て予定です。